

のり養殖の時期到来！！

今年度ののり養殖が始まり、宮城県では11月27日に全国に先駆けて乾のりの初入札が行われました。上場枚数は1,146万枚（前年比78%）と昨年より少なくなったものの、高品質なのりが生産できたことから平均単価は16.36円/枚（前年比3.77円高）と上昇しました。

有明海では、集中豪雨による漂流物や油流出等の影響が心配されましたが、漁業者総出での漂流物の撤去や、地方自治体等による懸命な作業で海への油流出を食い止め、例年通り10月下旬から採苗を始めることができました。生育状況としては、順調な地域がある一方で、色落ちやプランクトン増加によって例年になく厳しい漁場もあり、これからの水温低下や降雨等による栄養塩回復が待たれるところもあります。

昨年は生産枚数が60億枚台（例年70億枚強）に落ち込み、41年振りの水準となる記録的な不作に見舞われました。このような背景から、昨年度ののり特定養殖共済は支払共済金12億円、積立ふらすの払戻金14億円、合計26億円の支払いとなり、漁業経営を支えるセーフティネットの役割を果たす事ができたものと思っています。

今年度ののり特定養殖共済の契約実績は、養殖施設の削減等があったものの、新規契約や契約割合引上等により11月末時点で共済金額771億円（前年比106%、45億円の増）、漁業者積立額25億円（前年比104%、1億円の増）と前年度を上回ることができました。

のり養殖業を営む上で、漁場環境や自然災害等、自助努力だけでは対処が難しい事象に対して、漁業経営の安定のために「ぎょさい」と「積立ふらす」を役立てていただきたいと思います。

今月からは全国各地で共販が始まります。今後の養殖状況を注視するとともに、豊作となる事をお祈りいたします。

令和元年度の加入実績（11月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	今年度	前年度	前年	今年度	前年度	前年
漁 獲 共 済	208,465	203,042	103%	12,271	10,459	117%
養 殖 共 済	202,834	185,787	109%	7,412	6,858	108%
特 定 養 殖 共 済	90,144	85,538	105%	3,180	3,088	103%
漁 業 施 設 共 済	16,408	15,879	103%			
地 域 共 済	9,894	8,317	119%			
合 計	527,745	498,564	106%	22,864	20,405	112%